

カニューレひも交換 気切孔や頸部の皮膚状態を保つ カニューレの安全な固定管理

必要物品

- Y ガーゼ □新しいカニューレひも □コットン(水またはお湯で濡らしておく)
- 肩枕用の丸めたタオル □軟膏 □綿棒 □ビニール袋 □気管内吸引に必要な物品
- バッグバルブマスク □新しいカニューレ

手順	留意点	
1)手を洗い、手指消毒、手袋をする。		※カニューレひも交換は二人体制で行う。
2)吸引をする。	痰があると交換の途中で痰が吹き出すことがあるため、交換前に吸引する。	
3)肩枕用に丸めたタオルを首の下に敷く。	首が伸びるような姿勢をとる。	
4)カニューレが動かないように手で固定し、片方のひもの固定を外す。ひもが当たっていた皮膚を観察しコットンで拭く。反対側の皮膚も同様に観察し拭く。	カニューレが動くと咳を誘発したり、呼吸が苦しくなったりするため、しっかりカニューレの羽の部分を手で固定する。	
5)Y ガーゼを引き抜く。 カニューレが動かないように注意しながら引き抜く。	ガーゼ交換にはカニューレ抜去のリスクが伴うため、 バッグバルブマスクを準備しておく。	
6)気管切開部の肉芽や異常がないか観察しコットンで拭く。軟膏の指示があれば、皮膚を拭いた後に綿棒で塗る。	子供が嫌がったり、暴れたりする場合は、皮膚の観察や軟膏の塗布はカニューレひもの固定の後でも良い。 (安全に安心して交換ができるような方法をとる。)	
7)新しいY ガーゼ挿入。	カニューレが抜けないように注意。	
8)新しいカニューレひもで固定する。カニューレひもの締め具合は、指1本がひもと首の間に入る程度とする。	固定は左右に偏りがないようにする。固定がきつすぎると、苦痛や皮膚トラブルの原因になる。	

<p>9) 顔色や呼吸状態を観察し、痰があれば吸引する。</p> <p>使用後の物品はビニール袋にまとめて破棄する。</p>	<p>使用後のガーゼは痰や血液の汚染がないか、汚染範囲の広さ、痰の色の変化がないか確認する。</p>	<p>* 観察項目</p> <p>肺音、SPO2 値、口唇色、チアノーゼの有無</p>
--	--	---

図：日本小児医療保険協議会重症心身障害児(者)・在宅医療委員会「小児在宅医療実技講習会マニュアル」から引用

こんなときはどうする？

Q ガーゼ・カニューレバンド交換のタイミングは？

基本的に1日1回だが、痰などで汚れた場合、入浴後などでカニューレバンドが濡れた場合はその都度交換します。食後は避け、子供の機嫌が良いときに行うことが望ましいです。

Q 気管カニューレが抜けてしまったら？

- ・すぐにカニューレを入れ直しましょう。まずは速やかに気管の確保をすることが大切です。
 - ・新しいカニューレがすぐに取り出せない場合、抜けたカニューレを挿入します。
- (明らかに汚染しているときは、新しいもの、もしくは水洗いをして使用します。その後落ち着いてから新しいカニューレに入れ直しましょう。)